

健

健康増進

健康寿命を伸ばすために

65歳以上の方にさし茶配合の葉酸サプリを無料配布！

脳卒中・認知症の予防効果が期待され、世界中で注目を浴びている成分「葉酸」。境町では、株式会社DHCと包括連携協定を結び、健康寿命を延伸するための様々な健康づくり事業に取り組んでいます。その一つとして、平成29年度より、65歳以上の希望者全員に葉酸サプリメントを1年分配布し、健康長寿を全力サポートしています。平成30年度からは、「さし茶入りの葉酸サプリ」の配布を行っています。

葉酸サプリプロジェクト事業 609万円

国の補助金+ふるさと納税



平成30年度は65歳以上の1,109人に1年分のサプリを無料配布

健康のために
欠かせないサプリ！



野村かず子さん、野村ちい子さん(山崎)
健康維持のために飲み続けています。体に良いものを町が無料で提供してくれるのはとてもうれしいです。

プロテインの置き換えダイエットで「境町メタボ脱出プロジェクト」を実施

生活習慣病予防の一環として、平成29年度より、株式会社DHCと連携し、「境町メタボ脱出プロジェクト」を実施しています。昨年度はBMI指数25以上の男女92名の住民の皆さんが参加し、普段の食事と置き換えて摂取する「DHCプロテインダイエット」を使用した減量プログラムに挑戦しました。約3カ月間にわたる減量プログラムの結果、約9割の方が減量に成功しました。

メタボ脱出減量プログラム事業 364万円

国の補助金+ふるさと納税



平成30年度さかいまちダイエットアワード受賞者の皆さん

15.6kgの減量に
成功しました



齋藤雅人さん(上町)
ダイエットしたことで、気になっていた悪玉コレステロールも基準値に戻りました。今後も引き締まった体を維持したいです。

TOPICS

国民健康保険税を前年度より全体で約1%引き下げ、住民の負担軽減を図る

例：4人世帯の場合

【試算条件】
・世帯所得 200万円
(控除額 330,000円)
・固定資産税 84,153円
(H29年度平均)

平成30年度
396,700円/年税額

令和元年度
392,700円/年税額

年税額 4,000円(1%)
の引き下げ

県西地区では境町だけが引き下げ！

国民健康保険の財政運営については、昨年4月から茨城県が主体となり実施しています。この度、県から令和元年度国民健康保険事業納付金額が提示されました。特定健診の受診率向上等、保険事業強化により医療費削減を推進し、県西管内の市町では唯一境町だけが、保険税を前年度より全体で約1%引き下げ、国民健康保険加入者の負担軽減を図ります。



保険年金課
係長 岩岡美和

今後さらに保健事業を推進することで、医療費の削減を目指し、引き続き住民の皆さんの負担軽減と健康維持に取り組んでいきます。

農

農業向上

農業活性化へ向けた地場産品のブランド化



中箱のデザインは、さし茶の茶葉、高々と茶箱が積み上げられた高瀬舟と、富士山を借景ににぎわう境河岸の往時の様子を表しています。

TOPICS

境町のPRにも貢献！さし茶の新パッケージ完成

町では、麗澤大学と提携し、さし茶ブランド推進事業を行ってきました。その一環である「ブランディング・プロモーション事業」の成果物として、さし茶の新パッケージが完成しました。新パッケージは、化粧箱と内箱、付属の手提げ袋がセットになっており、江戸時代に隆盛を誇った「河岸の町さかい」をイメージする意匠が箔押しなどであしらわれ、高級感のあるデザインとなっています。



さし茶協会 石山嘉之会長

新パッケージは昔の境町をデザインで表現していて、さし茶のPRにつながると思います。色使いや素材にもこだわっていて、重厚で高級な感じが良いですね。

商

商工・観光

町なかの賑わいと活性化を創出するために

「キッズハウスさかい」、「河岸の駅さかい」、「モンテネグロ会館」、「ニコニコパーク及び保健センター」の機能拡充を実施

子育て拠点・コワーキングスペース整備事業 9,998億円 **新規**

国の補助金を活用し、町の持ち出し 25%



小学校低学年まで利用可能な新施設を併設するとともに、コワーキングスペースを整備

全天候型子育て世帯等交流施設整備事業 1億5,728万円 **新規**

国の補助金を活用し、町の持ち出し 25%



「ニコニコパーク」の屋内施設化、保健センターのリノベーション等を実施

河岸の駅さかいリノベーション事業 4,699万円 **新規**

国の補助金を活用し、町の持ち出し 25%



キッズスペース及びイベントスペースを整備するリノベーション等を実施

町では、地方創生拠点整備交付金を活用し、上記4施設の機能拡充を実施します。

「キッズハウスさかい」には、小学校低学年まで利用可能な新たな施設を併設し、子育てしながら利用可能なコワーキングスペース(*)を設置します。また、「河岸の駅さかい」には、子育て世帯が利用しやすいようにキッズスペースを整備し、施設奥の蔵でイベント等を開催できるようにリノベーションを実施します。さらに、アルゼンチン共和国との友好を深め、交流人口拡大の拠点とするため、隈研吾氏の設計により、既存のモンテネグロ会館の

地方創生拠点整備交付金 1億7,212万円を獲得！

モンテネグロ会館リノベーション事業 4,068万円 **新規**

国の補助金を活用し、町の持ち出し 25%



既存施設の資材をリサイクルし、当時の面影を残した新たな施設を整備

資材をリサイクルし、当時の面影を残した新たな施設を整備します。そして、多くの子育て世帯が利用する「ニコニコパーク」については、屋内施設化を行うとともに、隣接する空きスペースを有効活用したキッズスペースや、コワーキングスペースとしても活用できるカフェを整備します。保健センターについては、ベビーカーのスロープ、キッズスペースや授乳室の整備など、子育て世帯が利用しやすい施設にリノベーションを実施します。

※コワーキングスペース・・・様々な職業の方が仕事や会議などで利用できる共有型のオープンスペース。

オ

オリンピック・パラリンピック

オリンピック・パラリンピックに向けた施設整備

- ・文化村にオリンピック仕様のテニスコートを含む都市公園を整備
- ・境古河 IC 周辺地区に多目的運動施設を含む都市公園を整備

都市公園整備事業 3億8,060万円 **新規**

国の補助金を活用し、町の持ち出し約3割



文化村に整備予定のオリンピック仕様のテニスコートのイメージ

境古河 IC 周辺地区整備事業 5億8,340万円 **新規**

国の補助金を活用し、町の持ち出し約4割



境古河 IC 周辺地区に整備予定のウォーターベース人工芝ホッケー場のイメージ



社会資本整備総合交付金等 4億4,366万円を獲得！

アルゼンチンオリンピック委員会から強い要望があったホッケー場の整備については、オリンピック基準に対応したウォーターベース人工芝のホッケー場を境古河 IC 周辺地区内に整備する計画です。オリンピック後については、関東近辺の大学などと提携して有効活用していきます。また、テニスコートについては、文化村にオリンピック仕様のハードコート4面を整備し、そのうち2面は屋根を設置することで、雨天時や真夏の直射日光を軽減できるような施設整備を実施します。